

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
①介護・福祉・保育 人材不足解消 介護・福祉・保育の 魅力PR ②障害福祉サービス の充実	◇こまき福祉のお しごとフェアの開 催 (12月16日実施)	P.35	こまき福祉のおし ごとフェア実行委 員会 毎月開催 出展数 16法人と小牧市幼 児教育・保育課 【求人来場者数： 15名】	求人来場者数は少な かった。理由は愛知 県社会福祉協議会福 祉就職フェアと被っ ていた事や、学生は 就職が内定している 時期、社会人はボー ナス期と退職・転職 時期ではない。ふれ あいセンターは小牧 駅から距離があり、 車での移動が必要。	終了・継続→同じ ・変更	新規求人数が増えるのは1 月～3月、8月～10月という 調査結果もあり、(「転職 市場の繁忙期と閑散期」～ doda)、12月ではない開催 を検討していく。
①地域住民の障がい に関する理解促進 ②障がい福祉サービ スの周知	◇障がい者の日 (12月9日) 障がい者週間(12 月3日～12月9日 の啓発をする (社協だより等)	P.32	こまき社協だより 12月号掲載	広く障がい福祉につ いて広報ができた。	終了・継続→同じ ・変更	広報こまき及びこまき社協 だよりは、市内の区に入会 している全戸に配布してい る。
	◇障がい福祉サー ビス事業所一覧更 新		新規事業所への掲 載依頼、各事業所 に確認作業を行 い、1月末完成。	令和5年12月の情報で 作成できている。	終了・継続→同じ ・変更	毎年更新し、最新の障がい 福祉サービスを周知してい く。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
①サービス事業所が防災の意識を高めていく	◇災害時備蓄品リストの確認や呼びかけ	P. 50 P. 51	こども・日中活動系・就労支援連絡会でリストの確認	能登の地震もあり事業所に備蓄品の必要性を意識できた。BCP作成につなげていく。	終了・継続 → 同じ・変更	災害備蓄品リストは完成したため、一旦終了。事業所にて活用。
②福祉サービス利用時以外でも災害時に備える	◇災害時避難行動要支援者台帳への登録啓発		こども・日中活動系・就労支援連絡会で台帳登録の啓発をした。	連絡会を通して台帳登録の啓発ができた。台帳登録後は、民生委員から連絡や訪問がある事を事業者を通じて当事者や家族に伝えていく事が必要。	終了・継続 → 同じ・変更	台帳登録は、民生委員・児童委員のみならず、サービス事業者及び相談支援専門員からも引き続き当事者(利用者)に周知する。
①障がいのある人が「親亡き後」も地域で安心して暮らし続ける	◇権利擁護についての研修 ・尾張北部権利擁護支援センター主催等、権利擁護に関する研修への参加協力	P. 25 P. 26 P. 32	「尾張北部圏域の障がい福祉を考える会」 6月23日開催 【参加者 8名】	親亡き後、障がいのある方が地域で自立して生活していくためにすべきことや、理解者を増やしていくことが、権利擁護に繋がることがわかったなど、研修を受けたことで、多くのことを学べた。	終了・継続 → 同じ・変更	権利擁護に関する研修会の開催の周知に協力する。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更